



2024年12月期 第2四半期（中間期） 決算説明会資料

2024年8月16日（金）



We Craft Your Imagination.

Vision

日本創発グループの存在意義／めざすこと

We craft your imagination.

お客さまが羽ばたかせるご自身のイマジネーション。
私たちは、多様なリソースと先進技術を駆使して、
それを確かなカタチにするお手伝いをしていきます。

Mission

ビジョン実現に向けて、日本創発グループがなすべきこと

チームワーク

お客さまのチームの一員との心持ちで最善を尽くし、
ベスト・パートナーとなることをめざします。そのため
にも、社内・グループ内のチームワークの強化に努めます。

プロの真心と技

私たちは、お客さまのご満足と成功を願う真心と、
それを支える技を兼ね備えたプロフェッショナルです。

言い訳のない品質

納品物の品質はもとより、企画段階からアフター・フォ
ローまでのプロセスとスピードにおいても、言い訳の
ない高い品質を実現します。

Value

ビジョンとミッションの下、

日本創発グループがお客さまや社会に提供する価値

プラスαの追求

我が事として

私たちの最大の喜びは、お客さまにご期待をこえる
成果をお届けし、その笑顔を見ることが。もっと
その笑顔に出会うため、私たちは自らを鍛えながら、
お客さまにとってのプラスαを追求し続けます。

私たちは、目の前の一人ひとりのお客さまのご要望や目的、
お悩みやお困り事に真正面から向き合います。そして、
そのご満足を我が事として、丁寧に、一所懸命に追求します。

多様性の底力

私たちは、多様な個性、専門性、先進技術をもった人と
会社がつびつき、切磋琢磨している集団です。そこに
息づく多様性、先進性、独創性をいっそう発揮しな
がら、お客さまに新鮮な驚きをお届けしていきます。

新しいカタチ

私たちは、伝統的な印刷をさらに進化させつつ、想像力
と先進デジタル技術を駆使して、クライアントの想いを、
今まで見たことのないカタチでターゲットの心に
刻みつけていきます。

良き市民

私たちは、良き市民として、お客さま、投資家、協力企業、
業界、社員、さらには地域社会や環境に対する責任を、
誠意をもって、また積極的に果たしていきます。

01 グループ会社

New 2024年 資本異動 2024年 前年異動 2023年

	印刷	ITメディア セールスプロモーション	プロダクツ
連結子会社	<p>New 2024年3月</p> <p>共同製本 ※2024年2月 SEIO PRINTING CO.,LTD. と合併しました。</p> <p>BISHODO KPC 研精堂印刷株式会社 PRESEEZ</p> <p>TANAKA MGS</p> <p>New 2024年3月 望月印刷株式会社</p> <p>Lithmatic APRISE 株式会社アプライズ</p> <p>サンエーカガク印刷 Sanai Chemistry Printing</p> <p>日経印刷株式会社</p> <p>RINGSTONE あなたの創りをカタチにする</p> <p>2023年6月 Iijima 株式会社</p> <p>宏和樹脂工業株式会社</p> <p>株式会社 小西印刷所</p> <p>OKUMA 株式会社 大熊整美堂</p>	<p>popal CAD CENTER Crowd Gate</p> <p>FIVESTAR INTERACTIVE ***** SONICJAM PICO</p> <p>New 2024年3月 アスコム</p> <p>100%化 ONE PUBLISHING</p> <p>Japan Broadcast Solutions Inc.</p> <p>大光宣伝</p> <p>2023年6月 G!</p> <p>DIAMOND HEADS BARK IN STYLE</p>	<p>colore co.,ltd. 新日本工芸(株)</p> <p>EDICOS ENTERTAINMENT CO.,LTD. 株式会社 エヌビー社</p> <p>SMILE FLAG 株式会社スマイル</p> <p>funbox</p>
持分法適用 子会社	<p>HAL PROMOTION</p> <p>包む心を大切に カタオカプロセス株式会社</p> <p>SMC (株)サン・エム・コーポレーション</p>	<p>GI aex inc. rokunana</p> <p>Playce MD MARKETING DIRECTIONS</p>	
持分法適用 関連会社	<p>NRI 株式会社 NRIフィナンシャル・グラフィックス</p>	<p>New 2024年9月 ユニティグループ株式会社 Unity Group Inc.</p> <p>ARC BACKSTREETS INC.</p>	<p>IMAGEMAGIC</p>
持分法適用外 関連会社	<p>PROMO</p>	<p>New 2023年12月 MYOQUE 55 Cio Cio productions</p> <p>Visolab アド・クレール addair co.,ltd. ALPHA CODE Musignal Five for</p>	<p>立体造形工房 LAUNSELOTT Graphic Design Inc. SO-KEN</p>

01 新規グループ参画会社①

連結子会社

共同製本株式会社

東京都千代田区

2024年3月より連結子会社（議決権比率94.0%）
100%子会社であった 成旺印刷株式会社 と合併

製本・発送・管理等関連サービス

110余年の業歴を持つ製本会社である共同製本と成旺印刷が合併し、営業基盤を取り込み、総合印刷製本会社として再スタートしました。6月には、飯島製本の関東営業基盤と埼玉県嵐山市の生産基盤を承継しました。今後は、最新鋭の設備投資により競争力を高めてまいります。



望月印刷株式会社

さいたま市大宮区

2024年3月より連結子会社（議決権比率93.6%）

商業印刷を軸としたメディアコミュニケーション支援企業

埼玉県さいたま市で業歴60余年を有する商業印刷を中心とした総合印刷会社です。地域に密着した提案力をより強化するため営業部門を大宮駅至近のロケーションに拠点を移し、グループインフラを最大活用した印刷にとどまらないワンストップサービスの提案を目指しています。



01 新規グループ参画会社①

連結子会社：ITメディア セールスポモーションの強化

株式会社アスコム

東京都港区

2024年3月より連結子会社（議決権比率95.43%）

ビジネス・経済・健康・教育・生活実用ジャンルの書籍出版等

多数のベストセラー書籍を出版しています。BtoB領域では企業のマーケティングやブランディング支援を行っています。



01 新規グループ参画会社②

持分法適用子会社・関連会社

：ITメディアセールスプロモーションの強化

株式会社ゴーゴープロダクション

東京都武蔵野市

2023年12月より子会社化（議決権比率100.0%）

着ぐるみの制作販売・着ぐるみショーの企画・アクターの育成派遣

日本で唯一の着ぐるみ専門企業です。見る人の心に感動を与えられる着ぐるみエンターテインメントをお届けしています。本社吉祥寺には、お子様向けダンススタジオを運営しており、未来のアクターの育成にも力を入れています。



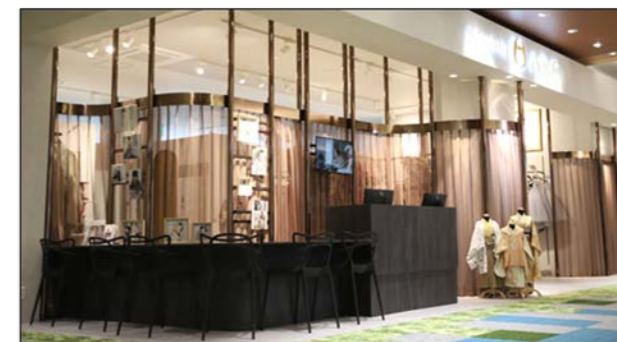
株式会社STUDIO ARC

大阪府堺市

2024年9月より関連会社（議決権比率37.5%）

フォトスタジオ・衣装レンタル 関連商品の販売

1927年 町の写真館として創業し、お宮参り・七五三などのお子様の写真や家族写真、成人式・結婚式の前撮り撮影などを行っています。店舗は、関西・関東中心に24店舗を展開しています。



02 2024年12月期 中間連結会計期間の概況

決算内容のハイライト

<p>売上高 6.5%増 人件費 13.4%増 グロス利益率 45.7% ⇒ 49.4%</p>	<p>長期借入金 1,750百万円 減少</p>
<p>付加価値の増加 + 内製化率向上により 運搬費の高騰もカバーし 売上高営業利益率 4.6% ⇒ 5.9%</p>	<p>自己株式 870百万円 増加</p>

※EBITDA = 経常利益 + 減価償却費 + のれんの償却額 + 金融費用

02 2024年12月期 中間連結会計期間の概況

(単位：百万円)

	2024年中間期 実績 (A)	2024年12月期計画 (B)		2023年中間期 実績 (C)	差異 (A-C)	
	金額	金額	対計画比 進捗率	金額	差額	対前期比 増減率
売上高	38,306	77,000	49.7%	35,953	2,352	6.5%
営業利益	2,274	3,500	65.0%	1,670	604	36.2%
営業利益率	5.9%	4.5%	—	4.6%	—	—
経常利益	2,144	4,000	53.6%	2,063	80	3.9%
経常利益率	5.6%	5.2%	—	5.7%	—	—
親会社株主に帰属する 中間純利益	1,609	2,600	61.9%	1,375	234	17.0%
当期純利益率	4.2%	3.4%	—	3.8%	—	—
EBITDA	3,167	6,250	50.7%	2,977	190	6.4%

※EBITDA = 経常利益 + 減価償却費 + のれんの償却額 + 金融費用

02 2024年12月期 中間連結会計期間の概況

(単位：百万円)

		2024年12月期中間期	2023年12月期中間期	前期比増減	増減率
a	売上高	38,306	35,953	2,352	6.5%
b	原材料費	8,425	8,007	418	5.2%
	商品仕入	22	▲ 3	26	－ %
	外注加工費	9,534	10,182	▲ 648	▲ 6.4%
	運搬費・著作権料・保管費	1,497	1,295	202	15.6%
	その他の原価	▲ 84	23	▲ 108	－ %
a – b		18,910	16,448	2,462	15.0%
	その他の販売費	404	230	173	75.3%
	人件費	11,191	9,864	1,326	13.4%
	減価償却費	837	806	31	3.9%
	のれん償却費	32	32	▲ 0	▲ 0.4%
	賃借料	847	647	199	30.8%
	租税公課	235	205	30	14.7%
	貸倒費用	▲ 5	18	▲ 24	－ %
	その他の経費	3,093	2,970	122	4.1%
営業利益		2,274	1,670	604	36.2%
	その他の営業外収入	478	503	▲ 25	▲ 5.0%
	支払利息	▲ 103	▲ 74	▲ 28	－ %
	持分法投資損益	39	94	▲ 54	▲ 58.0%
	その他の営業外費用	▲ 545	▲ 130	▲ 414	－ %
経常利益		2,144	2,063	80	3.9%
親会社株主に帰属する 中間純利益		1,609	1,375	234	17.0%

02 2024年12月期 中間連結貸借対照表 (資産の部)

(単位：百万円)

科目	2024年12月期 中間期		2023年12月期		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	率
流動資産	36,830	48.1%	37,381	49.5%	▲ 550	▲ 1.5%
現金及び預金	17,347	22.6%	14,386	19.0%	2,961	20.6%
受取手形、売掛金及び契約資産	11,668	15.2%	13,223	17.5%	▲ 1,554	▲ 11.8%
電子記録債権	2,372	3.1%	2,782	3.7%	▲ 410	▲ 14.7%
その他	5,441	7.1%	6,988	9.3%	▲ 1,547	▲ 22.1%
固定資産	39,783	51.9%	38,171	50.5%	1,612	4.2%
有形固定資産	28,803	37.6%	27,814	36.8%	989	3.6%
建物及び構築物	8,019	10.5%	7,979	10.6%	40	0.5%
機械装置及び運搬具	2,932	3.8%	2,750	3.6%	181	6.6%
土地	17,303	22.6%	16,577	21.9%	725	4.4%
その他	548	0.7%	506	0.7%	41	8.1%
無形固定資産	1,122	1.5%	940	1.2%	181	19.3%
のれん	153	0.2%	146	0.2%	6	4.4%
その他	969	1.3%	794	1.1%	175	22.0%
投資その他の資産	9,857	12.9%	9,416	12.5%	441	4.7%
投資有価証券	6,127	8.0%	5,914	7.8%	212	3.6%
その他	3,729	4.9%	3,501	4.6%	228	6.5%
資産合計	76,613	100.0%	75,552	100.0%	1,061	1.4%

02 2024年12月期 中間連結貸借対照表 (負債及び純資産の部)

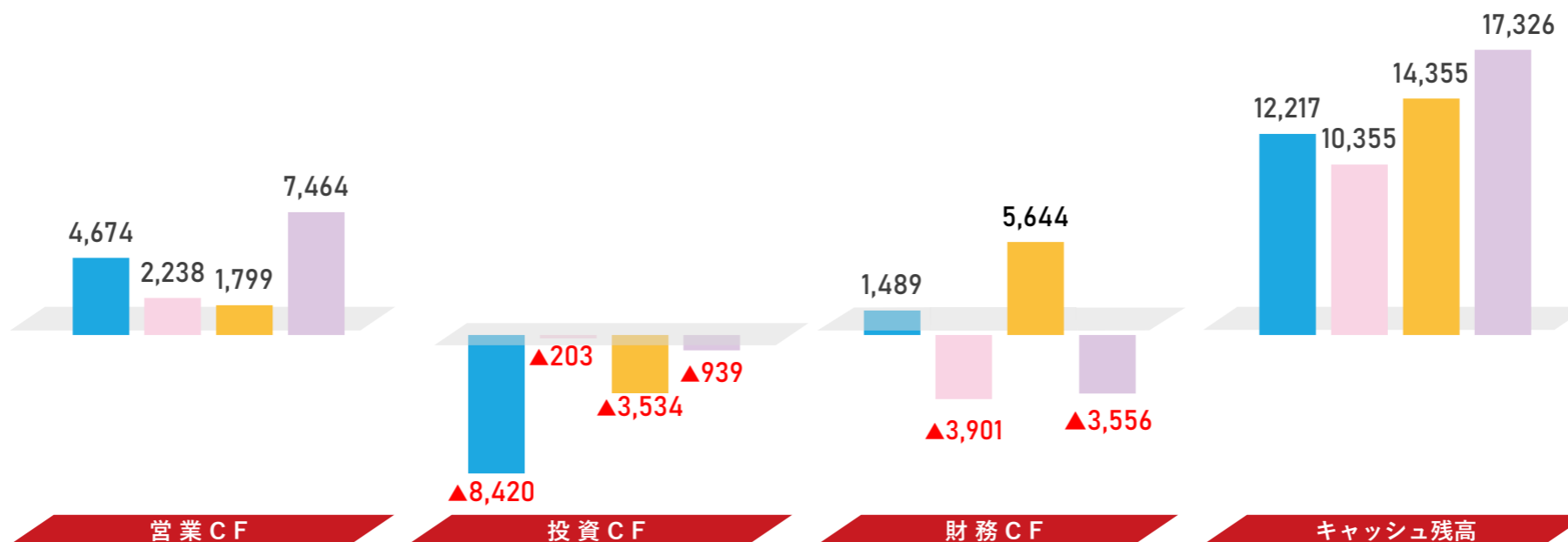
(単位：百万円)

科目	2024年12月期 中間期		2023年12月期		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	率
流動負債	40,554	52.9%	38,186	50.5%	2,368	6.2%
買掛金	4,572	6.0%	3,778	5.0%	794	21.0%
短期借入金	25,000	32.6%	25,000	33.1%	-	- %
1年以内返済予定長期借入金	3,500	4.6%	3,500	4.6%	-	- %
その他	7,481	9.8%	5,907	7.8%	1,574	26.6%
固定負債	20,096	26.2%	21,499	28.5%	▲ 1,403	▲ 6.5%
長期借入金	16,225	21.2%	17,975	23.8%	▲ 1,750	▲ 9.7%
退職給付に係る負債	22	0.0%	127	0.2%	▲ 104	▲ 82.3%
その他	3,848	5.0%	3,397	4.5%	451	13.3%
負債合計	60,650	79.2%	59,685	79.0%	964	1.6%
株主資本	15,067	19.7%	14,985	19.8%	81	0.5%
資本金	400	0.5%	400	0.5%	-	- %
資本剰余金	4,363	5.7%	4,692	6.2%	▲ 329	▲ 7.0%
利益剰余金	11,403	14.9%	10,121	13.4%	1,281	12.7%
自己株式	▲ 1,098	▲ 1.4%	▲ 227	▲ 0.3%	▲ 870	382.2%
その他の包括利益累計額	355	0.5%	439	0.6%	▲ 83	▲ 19.1%
非支配株主持分	540	0.7%	441	0.6%	99	22.4%
純資産合計	15,963	20.8%	15,866	21.0%	96	0.6%
負債・純資産合計	76,613	100.0%	75,552	100.0%	1,061	1.4%

02 2024年12月期 中間連結会計期間のキャッシュ・フロー

■ 2021年12月期 ■ 2022年12月期 ■ 2023年12月期 ■ 2024年12月期中間期
(単位：百万円)

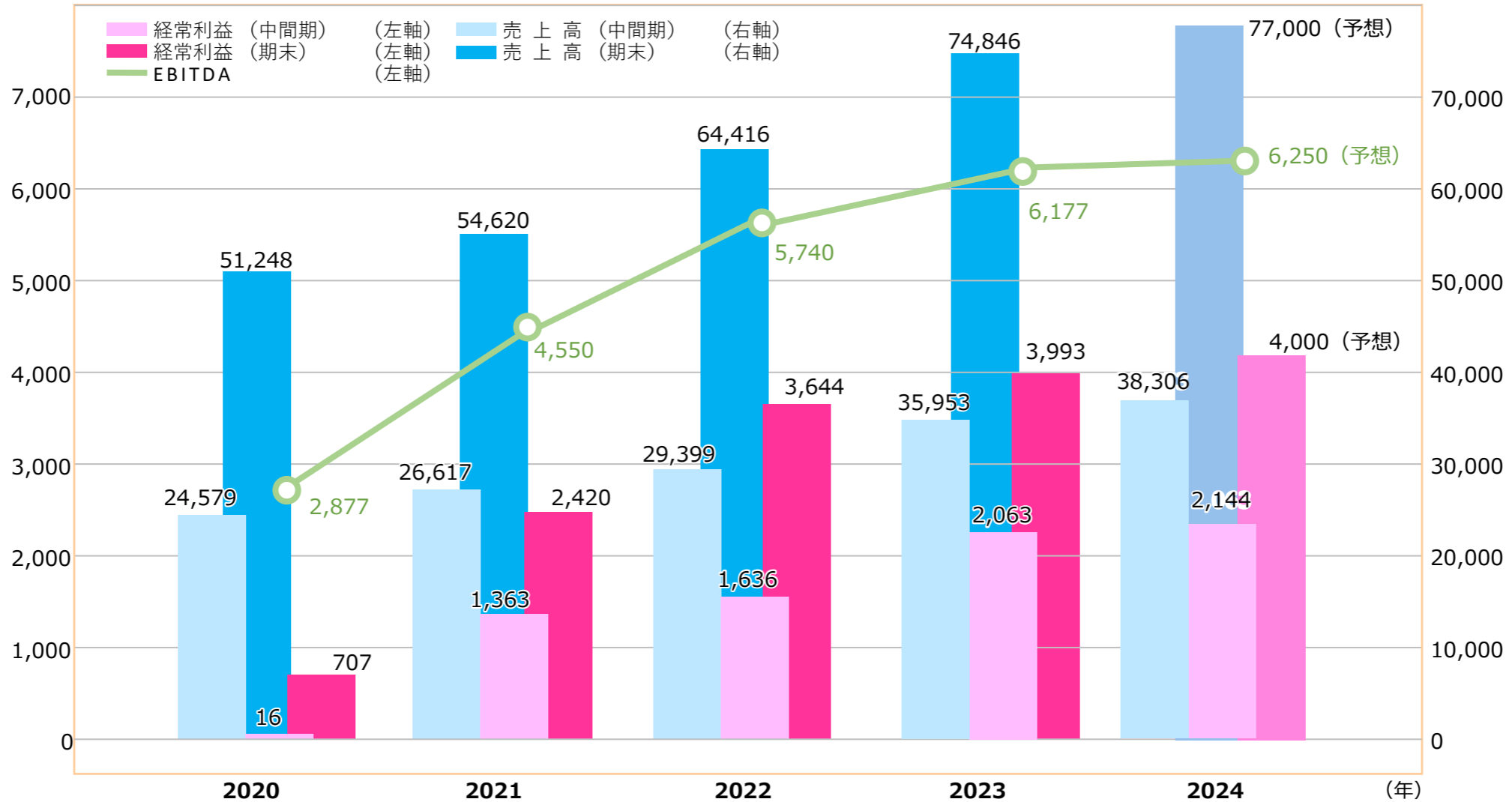
	2021年12月期	2022年12月期	2023年12月期	2024年12月期中間期
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,674	2,238	1,799	7,464
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲8,420	▲203	▲3,534	▲939
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,489	▲3,901	5,644	▲3,556
現金及び現金同等物の期末残高	12,217	10,355	14,355	17,326



02 2024年12月期 予想 (連結)

(単位：百万円)

(単位：百万円)



※EBITDA = 経常利益 + 減価償却費 + のれんの償却額 + 金融費用

02 2024年12月期 中間連結会計期間の概況

売上増加の内容

2024年12月中間期 ----- 連結子会社 **38社**
売上高 **38,306**百万円

2023年12月中間期 ----- 連結子会社 **38社**
売上高 **35,953**百万円

+2,352百万円 **6.5%増**

新規企業連結による影響

		※PL
飯島製本	2023年7月～	1Q+2Q
望月印刷	2024年4月～	2Q
共同製本	2024年4月～	2Q
グレートインターナショナル	2023年7月～	1Q+2Q
アスコム	2024年4月～	2Q

⇒売上増加分 **約17億円** (25 - 8)



約6億円は、
既存事業会社の増加分

02 2024年12月期 中間連結会計期間の概況

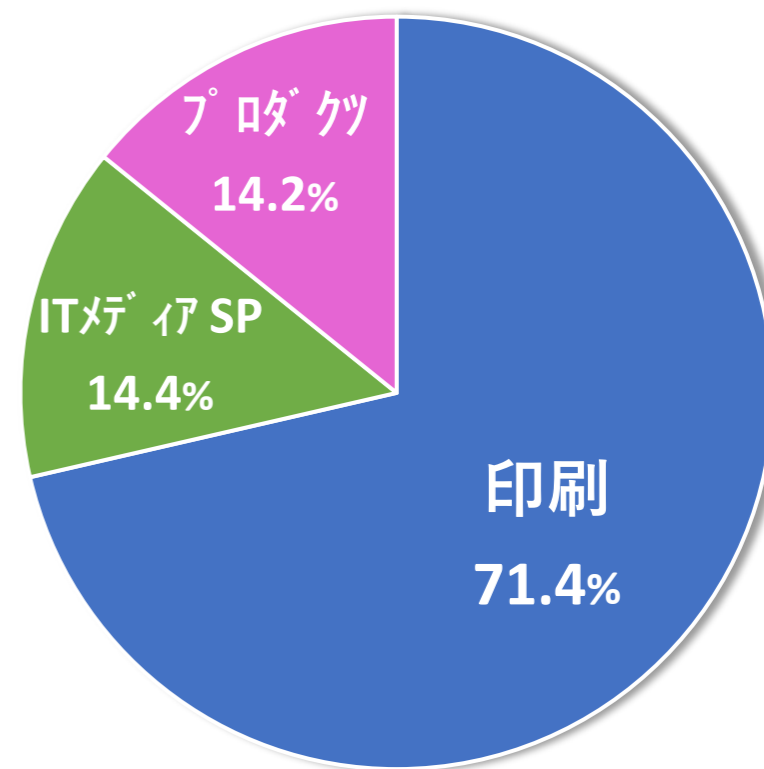
売上増加の内容

2024年12月中間期 ----- 連結子会社 **38社**
売上高 **38,306**百万円

2023年12月中間期 ----- 連結子会社 **38社** ※
売上高 **35,953**百万円

+2,353百万円 **6.5%増**

売上構成比



02 2024年12月期 中間連結会計期間の概況

印刷関連事業

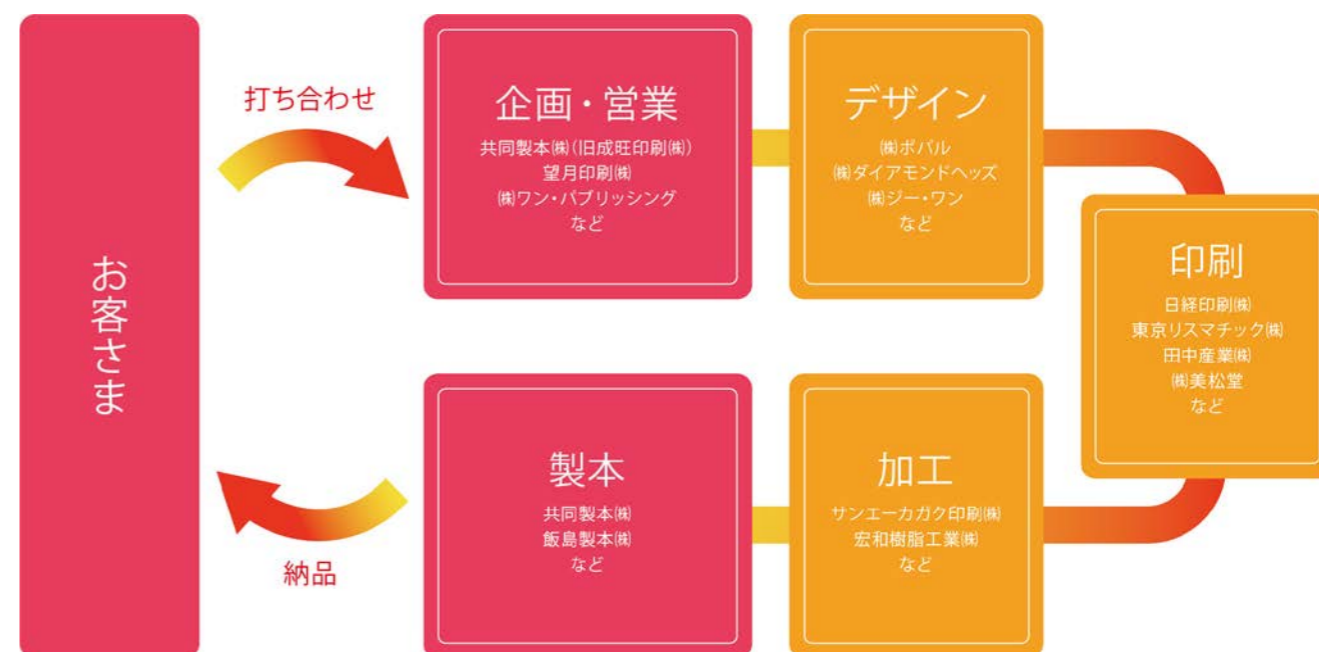
ポイント

共同製本と成旺印刷の合併

営業 + 最終工程の一体運営により
お客さまとの接点を共有することになる

⇒ 品質と顧客満足度の向上に取り組む

⇒ 製本ノウハウ・キャパシティの確保



02 2024年12月期 中間連結会計期間の概況

共同製本株式会社

東京都千代田区

2024年3月より連結子会社（議決権比率94.0%）

印刷物加工・製本・発送・管理等関連サービス

創業以来110年余の業歴を通して培ってきた高品質の造本技術を持ち、特に厚物製本に高い技術を持つ企業です。雑誌・書籍・教科書・絵本・カタログ・カレンダーから学校教材・見本帳まで、広範は営業品目を備え、後加工・アッセンブリーサービス・輸送納品まで含めたワンストップサービスを提供して事業を展開しています。



02 2024年12月期 中間連結会計期間の概況

IT メディア セールスポモーション

ポイント

「2025大阪万博」への取り組み
キャドセンター・JBS

⇒売上高・利益については2025年以降寄与

メディア活用とサービスの拡充
⇒拠点の集約とコミュニケーション拡大により
創造性をお客さまに提案する

出版事業の収益改善に注力



アスコムのグループ参入
ワン・パブリッシング移転集約

02 2024年12月期 中間連結会計期間の概況

株式会社アスコム

東京都港区

2024年3月より連結子会社（議決権比率95.43%）

ビジネス・経済・健康・教育・生活実用ジャンルの書籍出版等

創業以来培ってきた有名企業様や著名人の方々との信頼関係に加え、高い企画力・編集力を原動力に、出版業界を取り巻く厳しい環境の中でも、20万部以上のヒット作を出せる実力を持つ出版社。



世界一簡単! 70歳からの
スマホ活用アドバイザー 増田由紀

スマホの使いこなし術

6万部突破!

1万5000人のシニアにスマホを教えたプロが伝授!

スマホはこれからの人生の相棒

人に聞かなくても困りごとが全部解決!

パスワードを忘れなくなる 「画面がクルクル回る」を解決 シニアこそ意外な使い道

02 2024年12月期 中間連結会計期間の概況

株式会社STUDIO ARC

大阪府堺市

2024年9月より持分法関連会社（議決権比率37.5%）

フォトスタジオ・衣装レンタル 関連商品の販売

1927年 町の写真館として創業し、お宮参り・七五三などのお子様の写真や家族写真、成人式・結婚式の前撮り撮影などを行っています。店舗は、関西・関東中心に24店舗を展開しています。



02 2024年12月期 中間連結会計期間の概況

プロダクツ

ポイント

既存事業会社の順調な成長

IPを活用した商品の企画販売が好調

SMILE事業の一部見直し

・シルクスクリーン印刷⇒商材を変更

インドネシア共和国にて製造拠点

・日本のIPを活用した商品の製造

⇒アセアン諸国での販売をターゲットとする

売上 約13% up



03 2024年12月期 経営戦略について

日本創発グループ 第10期 人的資本の活性化

ポイント

1. 事業会社のリロケーション
2. 新卒初任給を含めた給与水準訂正の断行
3. 人的資本開示をふまえたDX投資の積極化
4. 基幹システムの整備

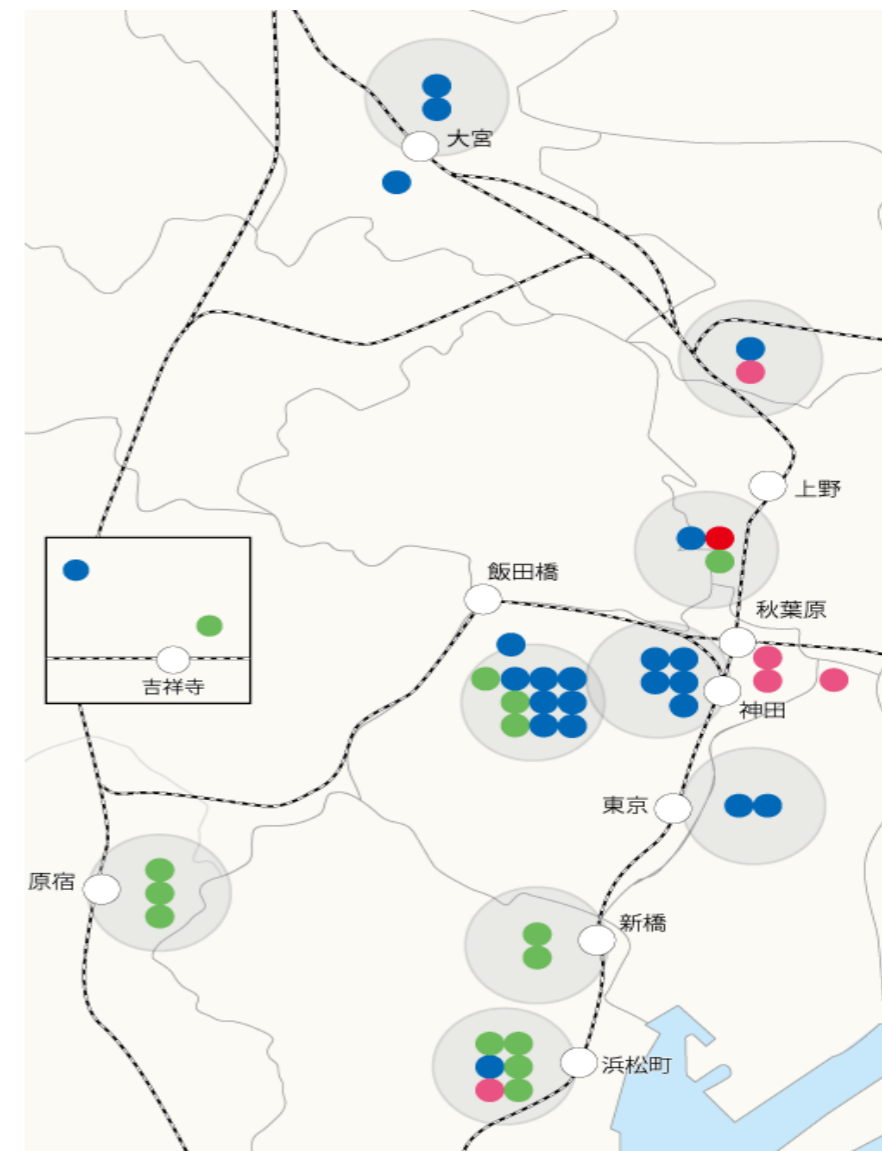
03 2024年12月期 経営戦略について

日本創発グループ第10期 人的資本の活性化

1. 事業会社のリロケーション

神田アネックスビルの売却 2025年12月までに引き渡し

- ・製造拠点の統合 ⇨ 生産効率向上に注力
- ・人的資本の活性化 ⇨ 付加価値向上に注力
- ・基幹システムの見直し着手 ⇨ ワンストップサービス拡充

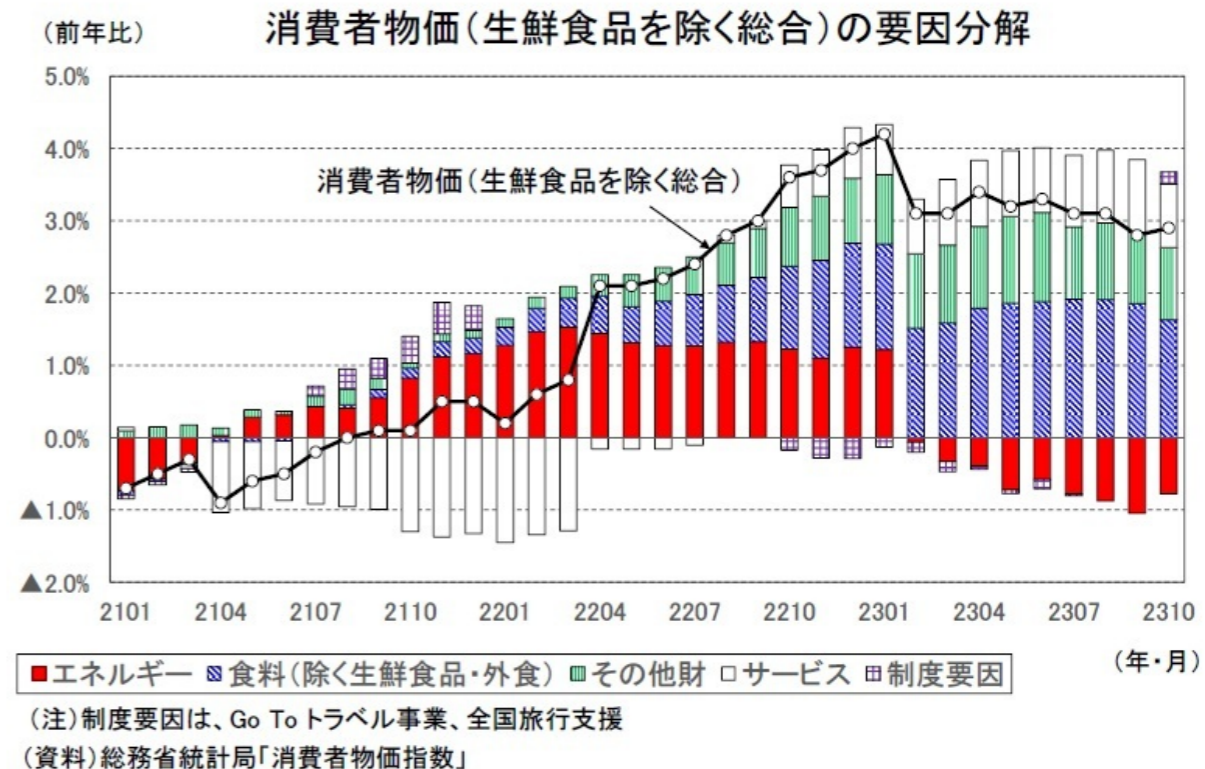


03 2024年12月期 経営戦略について

日本創発グループ第10期 人的資本の活性化

2. 新卒初任給を含めた給与水準訂正の断行

- 年間 約200百万円の人件費増を想定
期間収益にて吸収を見込む
- 地域差を考慮して各事業会社にて検討
- 一部事業会社の退職金制度見直し



03 2024年12月期 経営戦略について

日本創発グループ第10期 人的資本の活性化

3. 人的資本開示をふまえたDX投資の積極化

グループ企業間含めた人事交流

見える化を進めるためにも
新システムに移行する

創発エンゲージメント

ソ
育てる

必要な能力
現在の能力
そのための手段
能力の可視化

ウ
移す

社内部署異動
グループ間異動
M&Aによる異動
成長意欲を刺激

ハ
派遣・研修

グループ間派遣
グループ間研修
グループ間委託
活発な交流

ツ
つながる

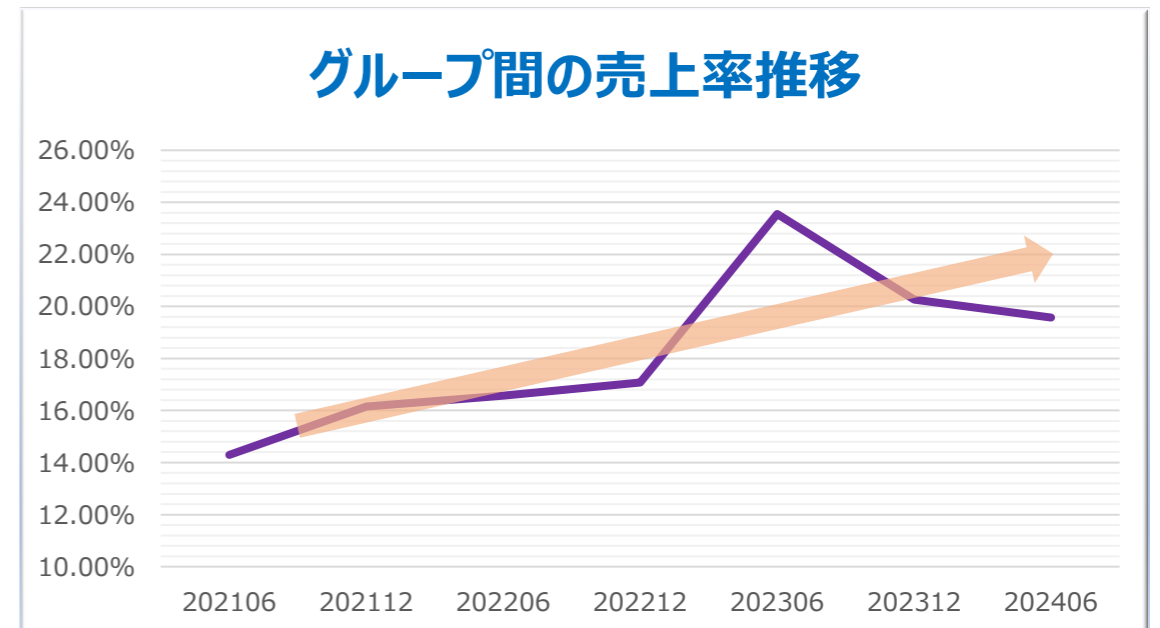
社内部署間
グループ間
知り合いが増える
知見の共有

03 2024年12月期 経営戦略について

日本創発グループ 第10期 人的資本の活性化

4. 基幹システムの整備

- ・ワンストップサービスの提案力強化
⇒グループ間受発注の増加
- ・グループ生産拠点の効率活用
⇒拠点の集中と連携強化
- ・人的資本の最適配置
⇒人事システムとの連携



04 2024年12月期 業績の見通し (連結)

(単位：百万円)

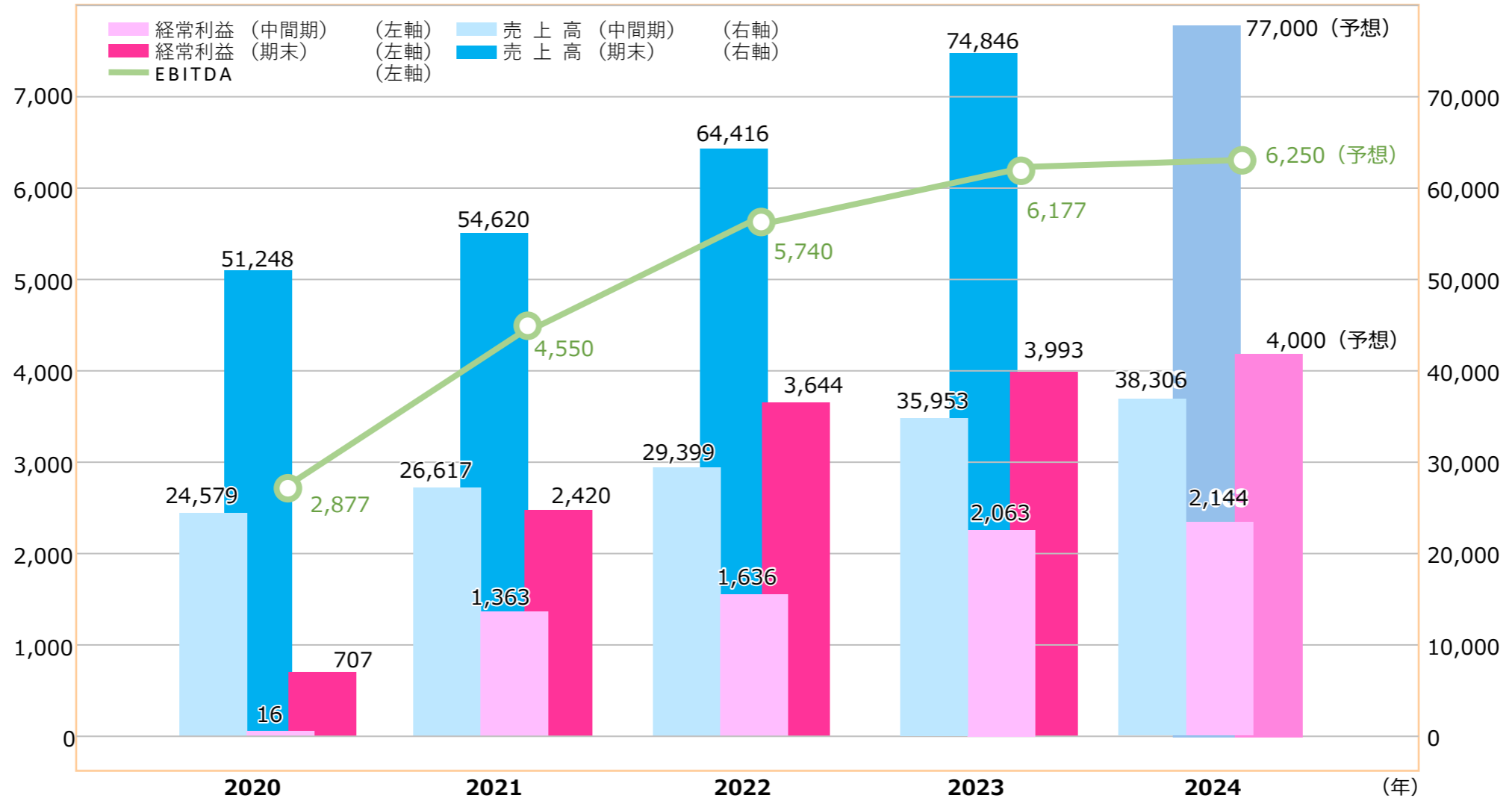
	2023年12月期 (実績)	2024年12月期 (予想)	前 期 比	
			差 額	増減率
売 上 高	74,846	77,000	2,153	2.9%
営 業 利 益	3,463	3,500	36	1.1%
経 常 利 益	3,993	4,000	6	0.2%
EBITDA	6,177	6,250	72	1.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,508	2,600	91	3.7%
E P S (円 銭)	50円94銭	51円86銭		
1株当たり年間 配当金 (円 銭)	12円00銭	13円00銭		
期中平均株式数 (千株)	49,238	50,135		

※EBITDA = 経常利益減価償却費のれんの償却額金融費用

04 2024年12月期 予想 (連結)

(単位：百万円)

(単位：百万円)



※EBITDA = 経常利益 + 減価償却費 + のれんの償却額 + 金融費用

本日は決算説明会へのご参加 ありがとうございました。

当資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略などに関する情報は、当資料作成時点において、

当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断に基づくものです。

しかしながら実際には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生などにより、

当資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社は、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいりますが、

当資料記載の業績見通しのみ全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、または転送などを行われぬようお願いいたします。



U R L : <https://www.jcpg.co.jp/>

E-mail : cp@jcpg.co.jp

T E L : 03-5817-3061 IR担当